

# 九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和7年12月分：速報)

## <対世界>

○輸出総額:1兆1,966億円(伸率: +4.8%) ⇒ 2か月連続のプラス

・順位:1位

【順位は、昭和54(1979)年1月以降(564か月、12月は47か月)による。以下同じ。】

・増加品目:半導体等電子部品(同+39.1%)、ゴムタイヤ及びチューブ(同+22.4%)

○輸入総額:9,274億円(伸率:▲1.8%) ⇒ 4か月連続のマイナス

・順位:20位、12月としては4位

・減少品目:石炭(同▲31.4%)、金属鉱及びくず(同▲10.8%)

○差引額:2,692億円(伸率: +36.6%) ⇒ 11か月連続の輸出超過

・順位:6位、12月としては2位

為替レート: 2025年12月:155.86円/ドル(2024年12月:152.48円/ドルと比べ2.2%の円安)

## <品目別動向>

### ○輸出

半導体等電子部品(1,494億円→2,078億円、伸率: +39.1%)は、香港(625億円→882億円、同+41.2%)及びベトナム(164億円→415億円、同2.5倍)向けが増加し、6か月連続のプラスとなった。

また、ゴムタイヤ及びチューブ(321億円→394億円、同+22.4%)は、南アフリカ共和国(5億円→21億円、同4.4倍)及びペルー(4億円→20億円、同4.5倍)向けが増加し、2か月ぶりのプラスとなった。

一方、船舶(363億円→96億円、同▲73.5%)は、シンガポール(108億円→実績なし)及びパナマ(139億円→59億円、同▲57.4%)向けが減少し、3か月ぶりのマイナスとなった。

### ○輸入

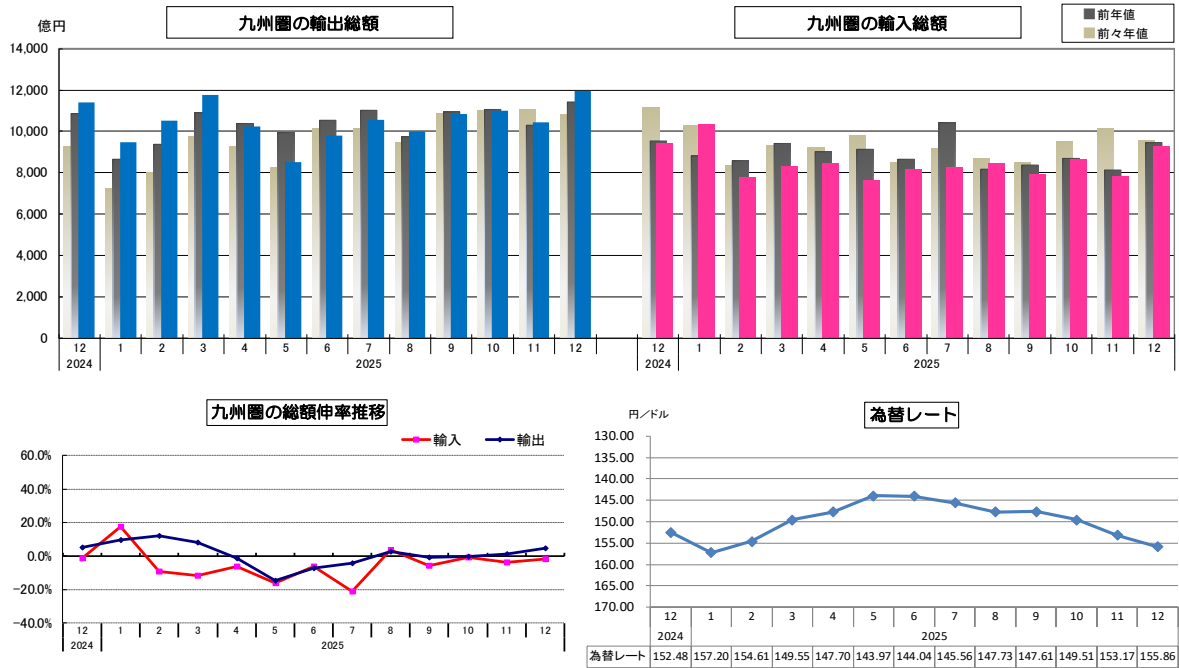
石炭(397万MT→329万MT、伸率:▲17.2%、937億円→643億円、同▲31.4%)は、オーストラリア(282万MT→227万MT、同▲19.4%、675億円→464億円、同▲31.2%)及びカナダ(28万MT→10万MT、同▲63.7%、71億円→18億円、同▲74.5%)からが減少し、12か月連続のマイナスとなった。

また、金属鉱及びくず(813億円→726億円、同▲10.8%)は、銅鉱(502億円→303億円、同▲39.6%)が減少し、4か月連続のマイナスとなった。

一方、半導体等製造装置(231億円→452億円、同+95.3%)は、EU(102億円→417億円、同4.1倍)からが増加し、2か月ぶりのプラスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年同月比

# 令和7年12月分：速報



## 九州圏の輸出主要品目推移



## 九州圏の輸入主要品目推移



※この内容を引用されるときは、「門司税関発表による」と付記してください。